

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 5 巻第 32 号

第 32 週(8月 8日 ~ 8月 14日)

発行年月日:平成17年(2005年) 8月 19日

発行 滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (32週)	累積報告数		平成16年報告数	
			滋賀 (32週)	全国 (32週)	滋賀	全国 <sup>(*)1</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	<sup>(*)2</sup> 6	342	9	576
	腸チフス	0	0	31	2	66
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	8	1,816	21	3,640
4類感染症	E型肝炎	0	0	<sup>(*)3</sup> 31	1	34
	A型肝炎	0	1	<sup>(*)3</sup> 125	0	136
	オウム病	0	1	26	1	39
	デング熱	0	1	24	2	45
	マラリア	0	0	43	2	73
	レジオネラ症	1	1	133	0	162
5類感染症	アメーバ赤痢	0	2	423	8	580
	ウイルス性肝炎	0	1	183	5	299
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	83	0	167
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	38	1	53
	後天性免疫不全症候群	0	3	710	6	1,119
	ジアルジア症	0	0	42	2	85
	梅毒	0	0	322	4	516
	破傷風	0	0	58	2	100
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	45	0	49
急性脳炎	1	2	<sup>(*)3</sup> 127	1	164	

\*1:平成16年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。  
 \*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。  
 \*3:平成17年第30週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

### 2) 定点把握の対象となる5類感染症

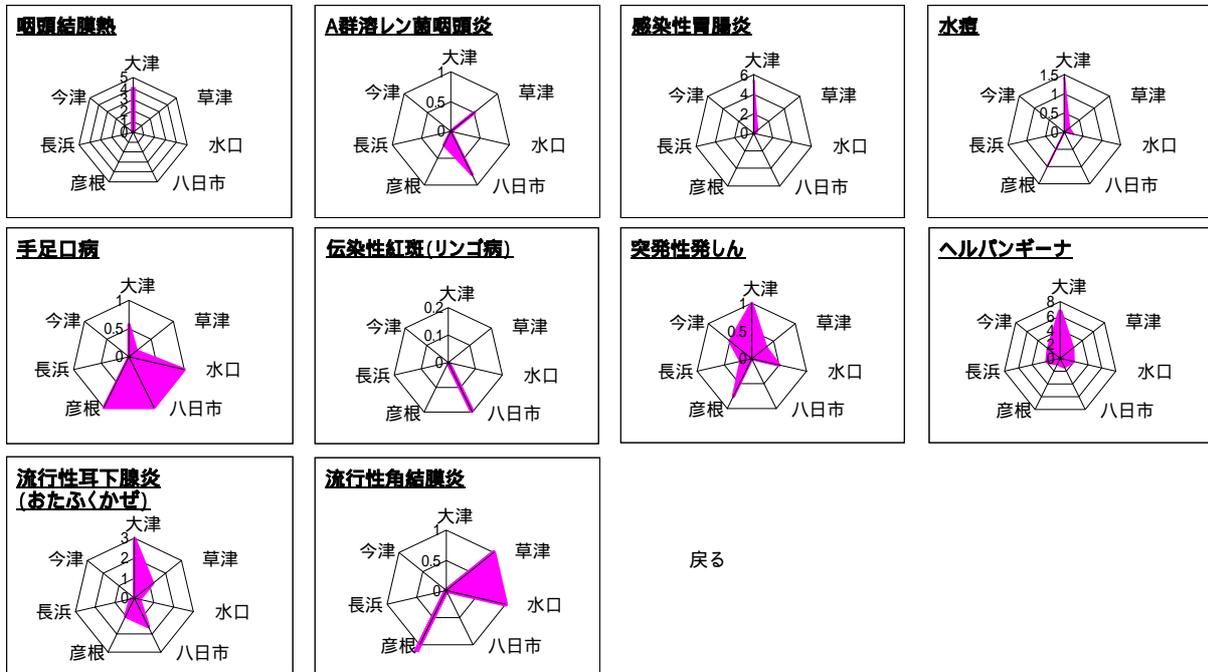
#### (1) 疾病別・週別発生状況(第27~32週、7/4~8/14)

疾患名	定点当たり患者数 ( 前週より増加 前週と同じ 前週より減少 )											
	27週	28週	29週	30週	31週	32週	週					
	(7/4~)	(7/11~)	(7/18~)	(7/25~)	(8/1~)	(8/8~)	28	29	30	31	32	
インフルエンザ	0	0	0	0	0.04	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.91	0.88	0.82	1.00	0.91	0.88						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.61	0.55	0.30	0.03	0.61	0.24						
感染性胃腸炎	2.15	2.03	1.85	1.85	1.82	1.30						
水痘	1.06	1.00	0.94	0.55	0.48	0.48						
手足口病	1.39	1.27	1.15	0.82	0.91	0.55						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.15	0.06	0.09	0.21	0.06	0.03						
突発性発しん	0.52	0.94	0.48	0.70	0.55	0.48						
百日咳	0	0	0.03	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0	0.03	0	0	0	0						
ヘルパンギーナ	5.55	5.00	4.39	4.12	3.15	2.67						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0.03	0	0	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.21	1.45	0.70	1.42	1.03	1.27						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	1.29	0.57	0.71	1.00	0.14	0.57						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.43	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	0	0.14	0						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第32週、8/8～8/14)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.88	4.14	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.24	0	0.50	0	0.80	0.25	0	0
感染性胃腸炎	1.30	5.43	0.50	0.25	0	0.25	0	0
水痘	0.48	1.43	0.17	0.25	0	1.00	0	0
手足口病	0.55	0.57	0.17	1.00	1.00	1.00	0	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0
突発性発しん	0.48	1.00	0.33	0.50	0	0.75	0.20	0.50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	2.67	6.57	2.17	1.75	1.20	0.75	1.80	2.00
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.27	3.00	1.17	0.25	1.60	1.00	0.20	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.57	0	1.00	1.00	0	2.00	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。咽頭結膜熱は先週と同様に大津からの報告が非常に多くなっています。水痘については大津および彦根で増加しており、手足口病については水口、八日市および彦根でやや多くなっています。また、流行性角結膜炎は草津、水口および彦根から、伝染性紅斑は八日市から報告されています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といえます。

\* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間の単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

### 3) 今週のトピックス

#### 手足口病およびヘルパンギーナは減少傾向持続 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第28~32週)

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(8月1日~8月7日)の報告数よりかなり少なくなっています。休診による全体的な報告数の減少が考えられますが流行性耳下腺炎および流行性角結膜炎の発生は増加しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、全数報告感染症についてはレジオネラ症および急性脳炎の届出がそれぞれ1名ずつありました。

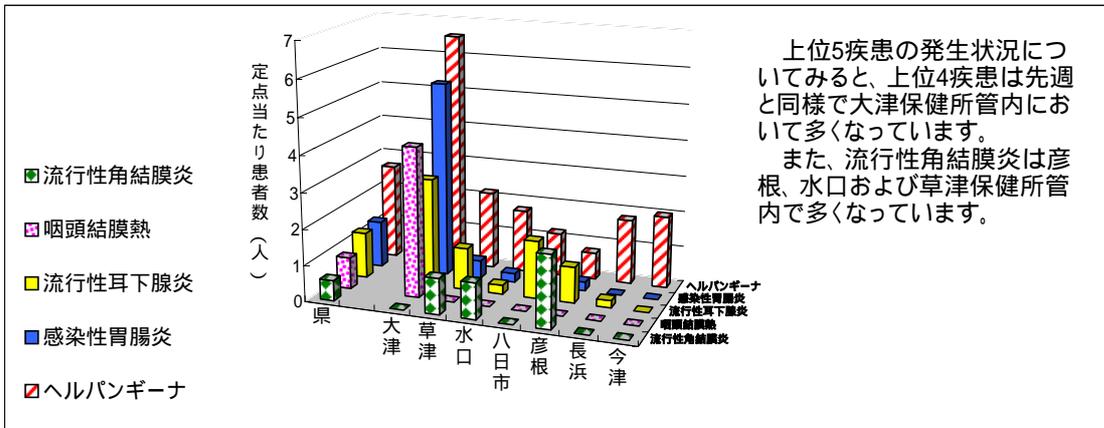
**インフルエンザ**については、先週、水口保健所管内から発生の報告がありました。今週は県内7保健所管内における発生の報告はありません。

**ヘルパンギーナ**については、先週の定点当たり患者数3.15よりさらに減少し2.67となっていますが、特に大津保健所管内では6.57と先週に引き続き多い状態で推移しています。

**流行性耳下腺炎**(おたふくかぜ)については、先週の定点当たり患者数1.03より増加し1.27となっており、大津および八日市保健所管内において増加しています。

#### 定点把握の対象となる5類感染症における上位5疾患の保健所管内別発生状況

(平成17年第32週、H17.8.8~H17.8.14)



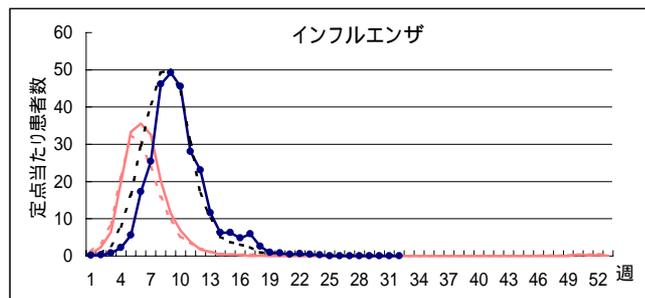
#### 滋賀県における全数報告感染症の概要(平成17年第28~32週、H17.7.11~H17.8.14)

感染症類型	疾患名	1~27週の累積報告数	28~32週の報告年月日	概要	
				菌種、血清型等	推定感染地域・推定感染源(原因)・感染経路等
一類感染症	報告なし	0			
二類感染症	細菌性赤痢	5 <sup>(*)</sup>	H17.7.16	菌種:ソネ	インド ホテルの水道
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	H17.7.15	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 不明
			H17.7.22	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 不明
			H17.7.23	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 不明
			H17.7.26	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 家庭内2次感染
			H17.7.27	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 梅干し、ピロシキ
			H17.7.27	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 不明
			H17.8.1	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 不明
			H17.8.2	血清型:O157 産性毒素型:VT1(+)/VT2(+)	日本国内 不明
四類感染症	A型肝炎	1	報告なし		
	オウム病	1	報告なし		
	デング熱	1	報告なし		
	レジオネラ症	0	H17.8.8		日本国内 不明
五類感染症	アメーバ赤痢	1	H17.7.21		日本国内 異性間性的接触
	ウイルス性肝炎	0	H17.7.28	B型肝炎	日本国内 不明
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	H17.8.4	孤弱性CJD	その他
	後天性免疫不全症候群	3	報告なし		
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2	報告なし		
	急性脳炎	1	H17.8.11		日本国内 不明

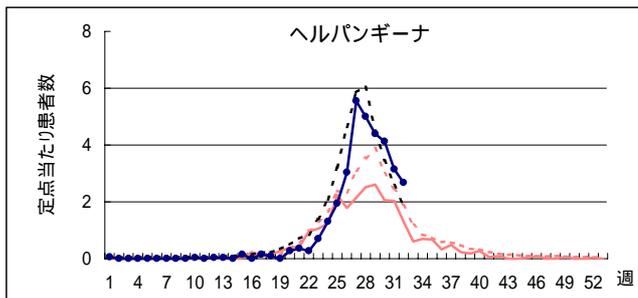
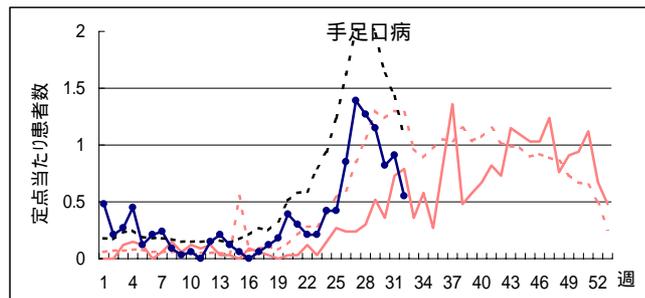
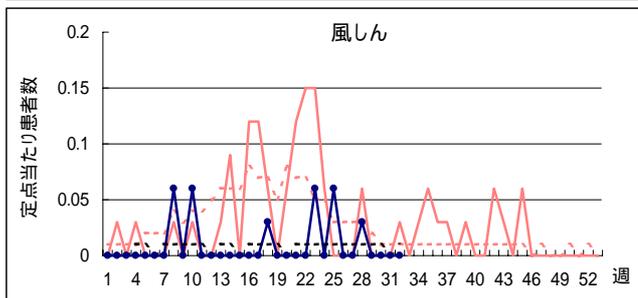
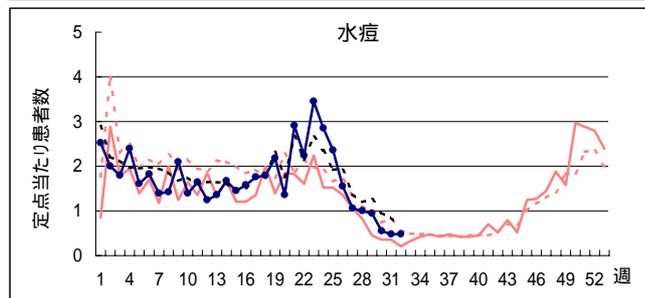
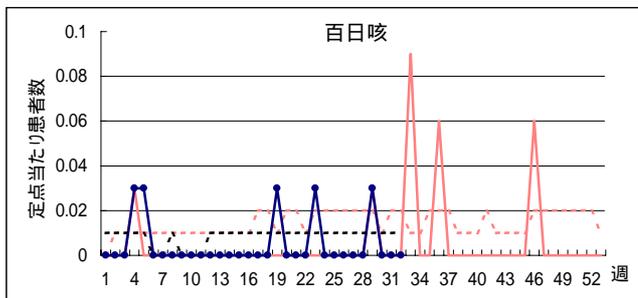
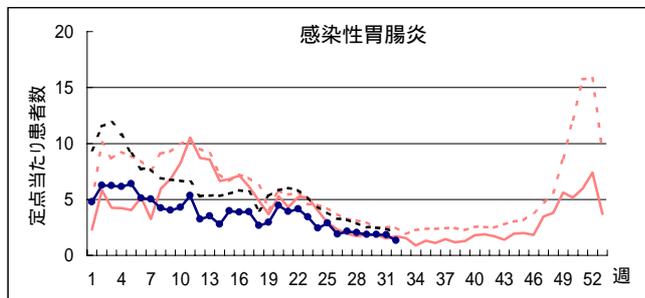
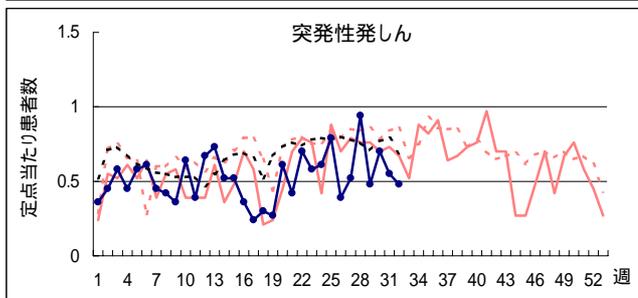
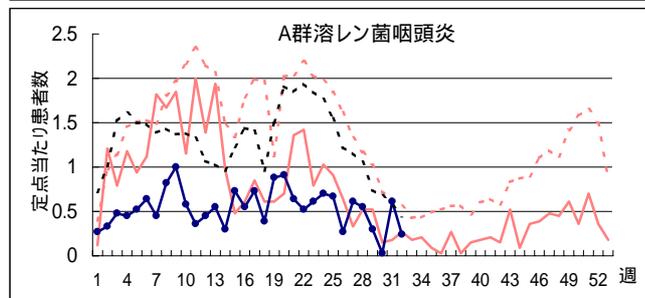
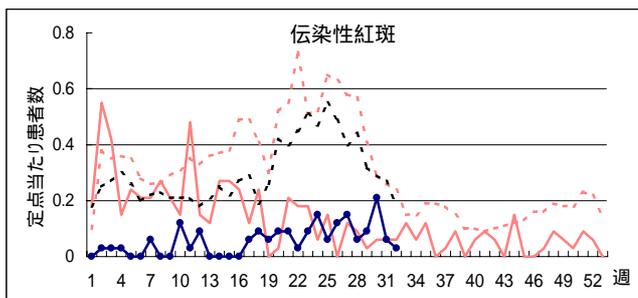
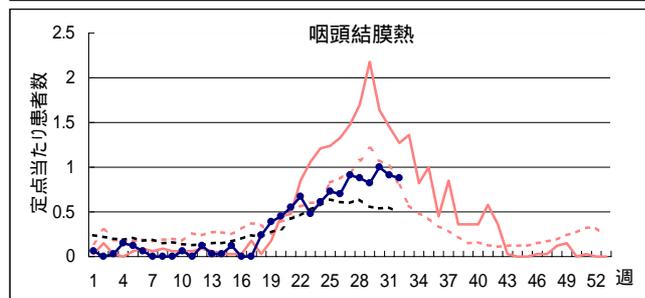
(\*)1) 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知2件を含む

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第32週、H17.1.3～H17.8.14)



H16 { 滋賀 ————  
       全国 ······  
 H17 { 滋賀 —●—●—  
       全国 ······



# 疾病別定点当たり患者数(平成17年第1週～第32週、H17.1.3～H17.8.14)

H16 〔 滋賀 ———— 全国 ..... 〕  
 H17 〔 滋賀 ●——● 全国 ..... 〕

